

水音にしばし心静めて。

山形の新緑

春しか
見られない!

中津川白川湖の水没林【飯豊町】

「白川ダム湖」に水没した柳の木が新芽を芽吹かせる、幻想的な風景をご覧ください。雪解け水で水位が増す春だけの特別な景色です。

場所／白川温泉白川荘付近
期間／4月中旬～5月中旬

カヌー体験情報

水没林の中でカヌーに乗りませんか? 「いいでカヌークラブ」がご案内いたします。

期間／4月中旬～9月下旬
料金／【1時間30分コース】2名～9名
大人4,500円、子ども3,500円
※保険料、道具一式を含みます。
※要予約
※10名様以上は料金がお安くなります。詳しくは、事務局にお問い合わせください。

交通／JR米坂線手ノ子駅から車で約20分
間／白川温泉白川荘(いいでカヌークラブ事務局) ☎0238-77-2124

マイナスイオンが 辺りに満ちる

み ち 三淵溪谷 ボートツーリング【長井市】

ながい百秋湖を船外機付きゴムボートで楽しむ新たなレジャー。卵の花姫伝説の舞台になった秘境・三淵溪谷を巡る約1時間の船旅です。

日程／5月上旬～11月中旬
場所／整理券配布:野川まなび館内
参加協力金／大人2,000円、小学生以下1,500円
交通／山形鉄道フラワー長井線長井駅から車で約30分
間／最上川リバーツーリズムネットワーク ☎0238-87-0605

たますだれ 玉簾の滝【酒田市】

弘法大師が発見し名付けたといわれる、落差63mもの迫力ある名瀑です。GWにはライトアップされ、水と光が織りなす幻想的な光景が楽しめます。玉簾の滝に向かう途中に開運出世の滝と呼ばれる「不動の滝」がありますので、合わせて楽しめます。

場所／酒田市升田
交通／JR羽越本線酒田駅から車で約45分
間／酒田市八幡総合支所建設産業課 ☎0234-64-3115
ライトアップ情報
日程／GW(4月27日(土)～5月6日(月・振休))※予定
時間／日没～22:00 料金／無料

丸池様【遊佐町】

鳥海山から湧き出る湧水で満たされた直径20m、水深5mの池。水の色は幻想的なエメラルドグリーンで、光の加減により微妙に色変化します。

場所／遊佐町直世字荒川57
交通／JR羽越本線吹浦駅で約10分
間／遊佐鳥海観光協会 ☎0234-72-5666

最上川舟下り【戸沢村】

松尾芭蕉の歌にも詠まれる、山形の母なる川。夕日の染まる最上峡の山々、きらめく川面とともに舟下りを楽しむことができます。

【最上峡芭蕉ライン観光】
期間／通年 時間／始発9:50、終発14:50 休／無休
料金／大人2,450円、小学生1,230円 ※15名以上団体割引あり
交通／JR陸羽西線古口駅から徒歩約7分
間／最上峡芭蕉ライン観光 ☎0233-72-2001

【最上川舟下り義経ロマン観光】
期間／通年 定休日／不定休(要問い合わせ)
料金／大人2,300円、小学生1,150円
※15名以上団体割引あり
交通／JR陸羽西線高屋駅から徒歩すぐ
間／最上川舟下り義経ロマン観光 ☎0234-57-2148



うしわたり 牛渡川 【遊佐町】

場所／遊佐町直世字荒川57 交通／JR羽越本線吹浦駅で約10分
間／遊佐鳥海観光協会 ☎0234-72-5666

川岸のあちこちから鳥海山からの伏流水が湧き出す様子が見られます。清流にしか生えないと言われる梅花藻(バイカモ)は初夏に白い花を咲かせます。(梅花藻の開花時期:6月中旬～7月下旬)

幻想の森【戸沢村】

一帯には巨木が林立。特に樹齢千年超といわれる土湯杉群生地では、根元から複数に分かれた枝が天へと伸びる神秘的な杉林が広がります。

場所／戸沢村古口土湯
交通／JR陸羽西線高屋駅から車で約20分
間／戸沢村観光物産協会 ☎0233-72-2110

ガイド付きツアーバス運行

日程／6月1日(土)～11月4日(月・振休)までの毎週土・日・祝
乗降場所／船番所、古口駅、川の駅 最上峡くさなぎ
料金／大人2,000円、小人1,000円
交通手段／バス ※添乗員なし
※雨天等悪天候の場合は中止となる場合があります。
※要予約
■旅行企画実施・申し込み 最上川交通(株)
(一社)全国旅行業協会会員 山形県知事登録旅行業
第2-227号
国内旅行業務取扱管理者 柿崎 喜久雄
山形県最上郡戸沢村大字古口2891-2
☎0233-34-7051
※詳しい旅行内容・条件等を記載したパンフレット及び旅行
条件書を準備しております。パンフレット等を請求し、
事前に内容をご確認のうえお申し込みください。

軽装で
気軽に巨木
ウォッチ。

山刀伐峠トレッキング

【最上町、尾花沢市】

松尾芭蕉がおくのほそ道で最大の難所と記した峠で、現在は歴史の道として散策道が整備され、芭蕉の旅を偲ぶ貴重な史跡となっています。

間／最上町ボランティアガイド協議会
☎0233-43-2233
尾花沢市観光物産協会
☎0237-23-4567

クアオルト 毎日ウォーキング

【上山市】

専任ガイドが案内する“楽しく頑張らない健康ウォーキング”で自然を楽しみましょう。初めての方も気軽に参加することができます。

場所／蔵王高原坊平コース、西山コース、葉山コースなど(日替わり)
日程／通年(年間360日開催)
時間／9:30～12:30(所要時間2～3時間程度)
料金／2,000円
間／上山市クアオルト推進室 ☎023-672-1111

ぬくみだいら 温身平森林セラピーウォーキング

【小国町】

森林セラピーアテンダント(案内人)とブナ原生林を歩きます。豊かな大自然に触れ、心潤う癒やしのひとときを過ごしましょう。
場所／森林セラピー基地「ブナの森温身平」
日程／6月上旬～11月上旬 時間／9:00～16:00
料金／個人(～4人)1人あたり3,000円、団体(5人～)案内人1人あたり10,000円
交通／JR米坂線小国駅から町営バスで約1時間
間／小国町産業振興課 ☎0238-62-2416

小杉の大杉【鮭川村】

幹が二又状に分かれ、その根元に山神様を祀る樹高約20m、枝張り17mの巨杉。映画「となりのトトロ」のトトロに形が似ていることで知られます。
交通／JR山形新幹線新庄駅から車で約30分
間／鮭川村観光協会 ☎0233-55-2111

冬の名残に春が際立つ



ブナと残雪の月山トレッキング【西川町】

視界一面に広がるブナの原生林は見事の一言。5月から6月は残雪とブナの新緑が織りなす素晴らしい風景を見ることができます。

場所／西川町志津 日程／5月～6月
交通／JR左沢線寒河江駅から車で約40分
間／山形県立自然博物館 ☎0237-75-2010



天元台高原トレッキング【米沢市】

GWまで春スキーを楽しむことができ、残雪の残る夏山トレッキングは6月初旬からお楽しみいただけます。ボランティアガイドによるフラワーガイドもお楽しみいただけます。(3日前まで要予約、有料)
交通／JR山形新幹線米沢駅から車で約35分(ロープウェイまで)
間／天元台 ☎0238-55-2236



月山 雪の回廊【西川町】

冬季は、あまりの豪雪のために閉鎖されている月山スキー場。4月のスキー場開きを前に除雪を終え、高いところでは約12mにもなる雪の壁は圧巻です。

場所／姥沢駐車場～月山志津温泉
交通／JR左沢線寒河江駅から車で約40分
間／月山朝日観光協会 ☎0237-74-4119

山形の歴史と文化

文化を結ぶ 道をたどる。

霊場として崇められる山々への信仰、
そして北前船による上方との交易。山形には
これらがもたらした文化遺産が多く残されています。
その一つひとつを線で結び、当時の背景をたどる。
そんな知的好奇心あふれる旅に
出かけましょう。

出羽三山～生まれかわりの旅～

出羽三山の羽黒山は人々の現世利益を叶える“現在の山”、月山はその高く秀麗な姿から祖霊が鎮まる“過去の山”、湯殿山はお湯の湧き出る赤色の巨岩が新しい生命の誕生を表す“未来の山”と言われています。三山を巡ることは、「生まれかわりの旅」として、山の自然と信仰の結び付きを今に伝えています。



出羽三山(羽黒山・月山・湯殿山)は1,400年の歴史を持つ修験道の聖地。三山すべてを歩いて参れば、生きながらにして生まれ変わるといわれています。
問／出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会 ☎023-630-3342

北前船寄港地・船主集落

日本海沿岸には、山の風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。



本間美術館〔酒田市〕
日本一の大地主として知られた酒田の本間家。その別荘である「清遠閣」と庭園「鶴舞園」は「本間美術館」として公開されています。
時間／9:00～17:00(4～10月)
料金／一般900円、学生400円 ※小・中学生以下無料
交通／JR羽越本線酒田駅から徒歩約6分
問／本間美術館 ☎0234-24-4311



舞娘茶屋相馬楼・竹下夢二美術館〔酒田市〕
江戸時代の料亭「相馬屋」を修復し平成12年3月に開樓。2階の大広間は演舞場として、酒田舞娘の踊りと食事を楽しめます。
時間／10:00～17:00(舞娘鑑賞は14:00～) 定休日／水曜日
料金／【入館チケット】大人1,000円、中高・大学生500円、小学生以下無料
【演舞チケット】大人1,800円、中高・大学生1,000円、小学生以下無料
※10名様以上団体割引あり
交通／JR羽越本線酒田駅から庄内交通バス約5分青町下車、徒歩すぐ
問／舞娘茶屋相馬楼・竹下夢二美術館 ☎0234-21-2310



山形の日本遺産

「日本遺産(Japan Heritage)」とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。山形県では、4つのストーリーが日本遺産に認定されました。

山寺が支えた紅花文化

山寺から始まった紅花栽培と紅花交易は莫大な富と豊かな文化をこの地にもたらしました。豪農・豪商屋敷や雅な雛人形、紅花染めの衣装を身に着けて舞う舞楽が今なお受け継がれ、華やかな彩りを添えています。



旧柏倉家住宅〔中山町〕
敷地2,300坪、建屋427坪という江戸時代の大庄屋。21畳敷の仏蔵、庭園を望む上座敷など見どころ満載です。(現在、資料整理中のため、一般公開はしていません。イベント時のみ特別公開を行います。)
問／中山町中央公民館(中山町教育委員会教育課) ☎023-662-2235

林家舞楽〔河北町〕
谷地八幡宮神職・林家に伝わる舞楽。谷地八幡宮の秋の例祭、寒河江市慈恩寺春の法会などで舞われます。
問／谷地八幡宮 ☎0237-72-2149



羽黒山五重塔特別拝観

〔鶴岡市〕
出羽三山神社では、神仏分離令が発せられた明治以降、五重塔内部は「秘中の秘」とされ、公開された記録はありませんでした。羽黒山三神合祭殿再建200年記念事業の一環で、昨年に続き、今年も国宝羽黒山五重塔内部を特別に公開します。
期間／4月27日(土)～11月30日(土) 時間／8:30～16:30
交通／JR羽越本線鶴岡駅から徒歩約30分
料金／500円 問／出羽三山神社 ☎0235-62-2356

サムライゆかりのシルクのまち鶴岡

日本の近代化を産業面からけん引した絹産業。旧庄内藩士が刀を鋳に持ち替えたことが、鶴岡市を中心とする庄内地域が国内最北限の絹産地となったきっかけでした。この地域は百数十年を経た今もなお養蚕から絹織物の製品化まで一貫した工程が残る国内唯一の地です。

松ヶ岡開墾場〔鶴岡市〕
開墾、農業、蚕糸関係資料や郷土玩具約25,000点を展示した旧藩士たちの歴史を伝える施設です。
料金／一般450円、学生350円
小・中学生150円
交通／JR羽越本線鶴岡駅から徒歩約20分
問／松ヶ岡開墾記念館 ☎0235-62-3985



やまがた出羽百観音 ～7年ぶりの置賜三十三観音御開帳～

観音様は悩める者の求めに応え、三十三の姿となってこれを救うとされています。ここ山形では、古くから三十三ヶ所の観音様にお参りする巡礼が行われてきました。やまがた出羽百観音とは最上三十三観音、庄内三十三観音、置賜三十三観音の3つの霊場の総称で、一つの県で百観音を巡ることができるのは非常に貴重なことです。



十九番札所 笹野観音(米沢市)



八番札所 深山観音(白鷹町)

御開帳が行われます
御開帳期間は普段見られない観音様を拝観できます。お見逃しなく!
■置賜三十三観音霊場御開帳
2019年5月1日(水・祝)～10月31日(木)
■最上三十三観音霊場御開帳
2020年5月1日(金)～10月31日(土)

詳しくは「やまがた出羽百観音」検索
yamagatakanko.com/dewa100kannon/



置賜三十三観音 御開帳

～地域に守られた素朴な霊場。
花巡り、湯巡りとともに～

2019年5月1日(水・祝)～10月31日(木)

置賜三十三観音は、直江兼続の後室お船の方が、西国三十三観音になぞらえて定められたとも伝えられています。古くから地区の人々によって大切に守られてきた素朴でありながらも厳かな観音霊場です。花巡り・湯巡りを楽しみながら、新しい時代の安寧を願って観音巡礼に出かけてみませんか。

※拝観時間は、原則9:00～17:00となっています。
問／二十一番札所 宝珠寺 ☎0238-32-2929



十二番札所 総光寺(酒田市)

庄内三十三観音

～山岳信仰の聖地から、名湯連なる海沿いへの旅路～

出羽三山など修験の霊山にいだかれた庄内地方に、300年ほど前に開創されました。羽黒山の麓にある荒澤寺を首首とする35の寺を巡ります。食の恵みが溢れる庄内路を観音様とともに旅してみたいでしょうか。
※拝観時間は、原則8:00～17:00 問／二番札所 羽黒山・金剛樹院 ☎TEL 0235-62-2564



一番札所 若松寺(天童市)

最上三十三観音

2020年御開帳

～名所と重なり合う、580年の歴史ある巡礼地～

開創は室町時代までさかのぼる国内有数の歴史ある巡礼地であり、「縁結び観音」で有名な若松寺を一番札所としています。観音堂の多くが最上川沿いに点在し、風光明媚な景色も楽しむことができます。
※拝観時間は、原則7:00～17:00 問／十七番札所 長登 ☎0237-74-3853

330年前の風景を思い描きながら山形路をゆく

松尾芭蕉が「奥の細道」で山形を旅してから今年で330年を迎えます。俳句とともに芭蕉の足跡を辿る旅に出かけてみませんか。



閑かサヤ
岩にしみ入蟬の声

山寺(宝珠山立石寺)

〔山形市〕
慈覚大師が清和天皇の勅許を得て創建した古刹。奥の院までの石階段には、句碑や板碑と共に苔むした堂塔が立ち、静寂をたたえます。
料金／大人300円、中学生200円、4歳児以上100円
交通／JR仙山線山寺駅から徒歩約5分
問／山寺観光協会 ☎023-695-2816



蚤虱馬の尿ずる
枕もと

封人の家

〔最上町〕

「封人の家」とは国境を守る役人の家のこと。芭蕉が門人の曾良をともない、尿前(しとまえ)の関を越えて出羽の国へと旅路を急ぐ途中、2泊3日逗留したと言われています。
料金／高校生以上250円、小・中学生120円
交通／JR陸羽東線埴田駅から徒歩約5分
問／封人の家 ☎233-45-2397



あつみ山や
吹浦かけて
夕涼み

立岩

〔鶴岡市〕

日本海に直立した高さ51mの奇岩です。頂上には天然記念物のマルバシリンバイや常緑木が密生しています。日本海に沈む夕日に映えた立岩は、はっとする美しさです。
交通／JRあつみ温泉駅からバスで約7分
問／あつみ観光協会 ☎0235-43-3547